

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-514
研究の名称	COVID-19 パンデミック前後での非 COVID-19 患者の重症度及び死亡率の推移に関する疫学的記述研究
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	—
研究の対象	2017 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの間に日本集中治療医学会が運営するデータベースに参加している施設の集中治療室に入室しデータベース登録された患者。
研究の目的	2019 年末に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは、世界各国の医療提供体制に前例のない甚大な影響を及ぼした。日本においても、感染拡大の波が繰り返される中で、COVID-19 患者を受け入れるための病床確保、人工呼吸器などの医療機器の準備、そして医療従事者の動員など、限られた医療リソースの大部分が COVID-19 診療に集中的に投入された。 このような状況は、COVID-19 に感染していない患者（以下、非コロナ患者）の診療にも深刻な影響を与えた可能性が懸念される。 パンデミック下における非コロナ患者の診療実態や、それに伴う臨床的帰結（重症度や予後）の変化については、いまだ十分に解明されていない。本研究は、パンデミック前、最中、そして収束後という 3 つの期間における非コロナ患者のデータを比較分析することで、パンデミックがもたらした間接的な健康被害の実態を定量的に明らかにすることを目的とする。
研究の方法	日本集中治療医学会が運営するデータベースである JIPAD データを使用して解析を行う。2017 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までを COVID パンデミック前、2020 年 1 月 1 日から 2023 年 4 月 30 日までを COVID パンデミック中、2023 年 5 月 1 日以降を COVID パンデミック後と定義し、3 つの期間における、患者背景、重症度、転帰を調査する。

研究に用いる試料・ 情報の種類	試料： なし 情報： 日本集中治療医学会から提供されるデータベースのデータ。
個人情報の取扱い	利用するデータは学会から提供される時点で個人が特定されないように加工されているため、個人が特定される心配はございません。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：集中治療科 研究責任者：熊澤 淳史 住所：大阪府堺市西区家原寺町 1 丁 1 番 1 号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2025 年 8 月 1 日（1 版）